

北海道芸術高等学校 放送教育の現状の把握

北海道芸術高等学校
桧物 聖

2020/10/15 全通研 発表資料

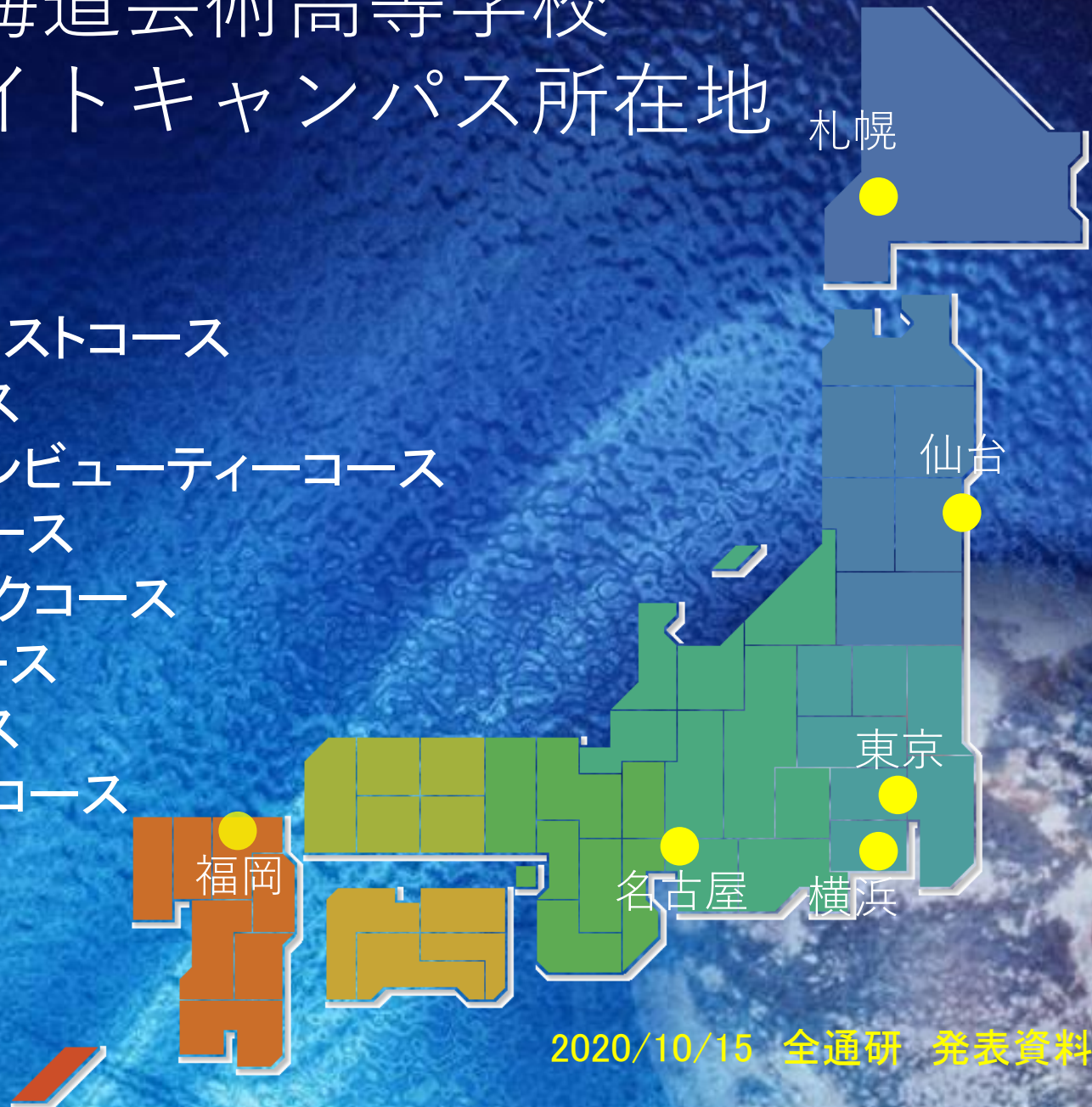
説明内容

1. 北海道芸術高等学校とは
サテライトキャンパスと8つのコース
2. 2018年度の研究
3. 2019年度のアンケート調査方法について
4. NHK高校講座の利用について
5. 試験に向けた復習方法について
6. 自分の選択したコースを勉強するうえで必要な教科(科目)
7. 2020年度感染症予防に向けた、家庭でのインターネット環境とオンラインでの生徒とのやり取り

北海道芸術高等学校 サテライトキャンパス所在地

コース

1. マンガイラストコース
2. 声優コース
3. ファッションビューティーコース
4. 美容師コース
5. ミュージックコース
6. ダンスコース
7. 美術コース
8. 総合進学コース



アンケート調査人数 2018

全国調査人数合計

1186名

サテライトキャンパス別 調査人数

札幌	256名
仙台	153名
東京池袋	87名
横浜	138名
名古屋	393名
福岡	159名

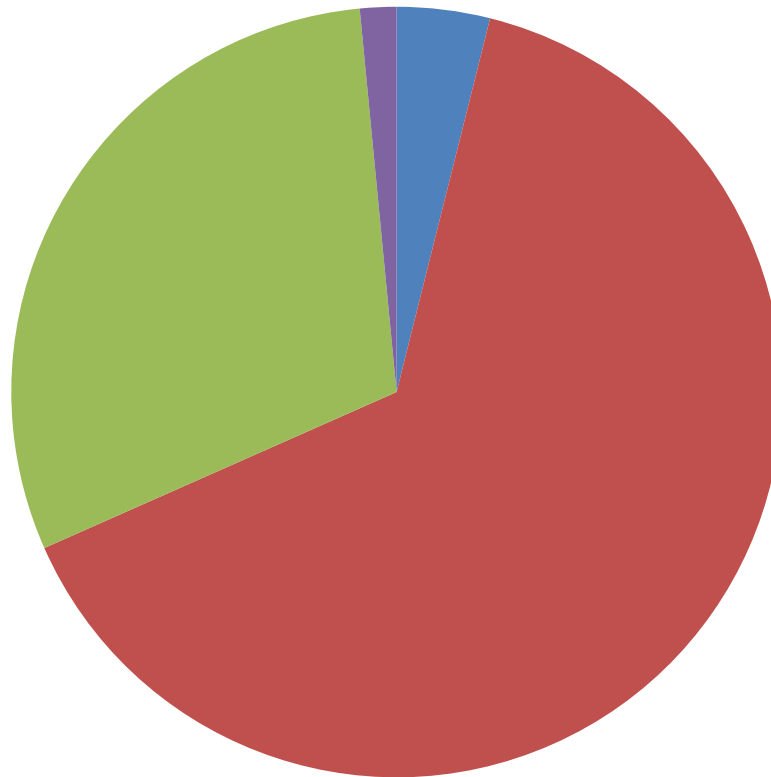
コース別 調査人数

マンガイラストコース	314名
声優コース	237名
ファッションビューティー コース	185名
美容師コース	142名
ミュージックコース	140名
ダンスコース	87名
美術コース	29名
総合進学コース	52名

NHK高校講座を見ているメディアについて

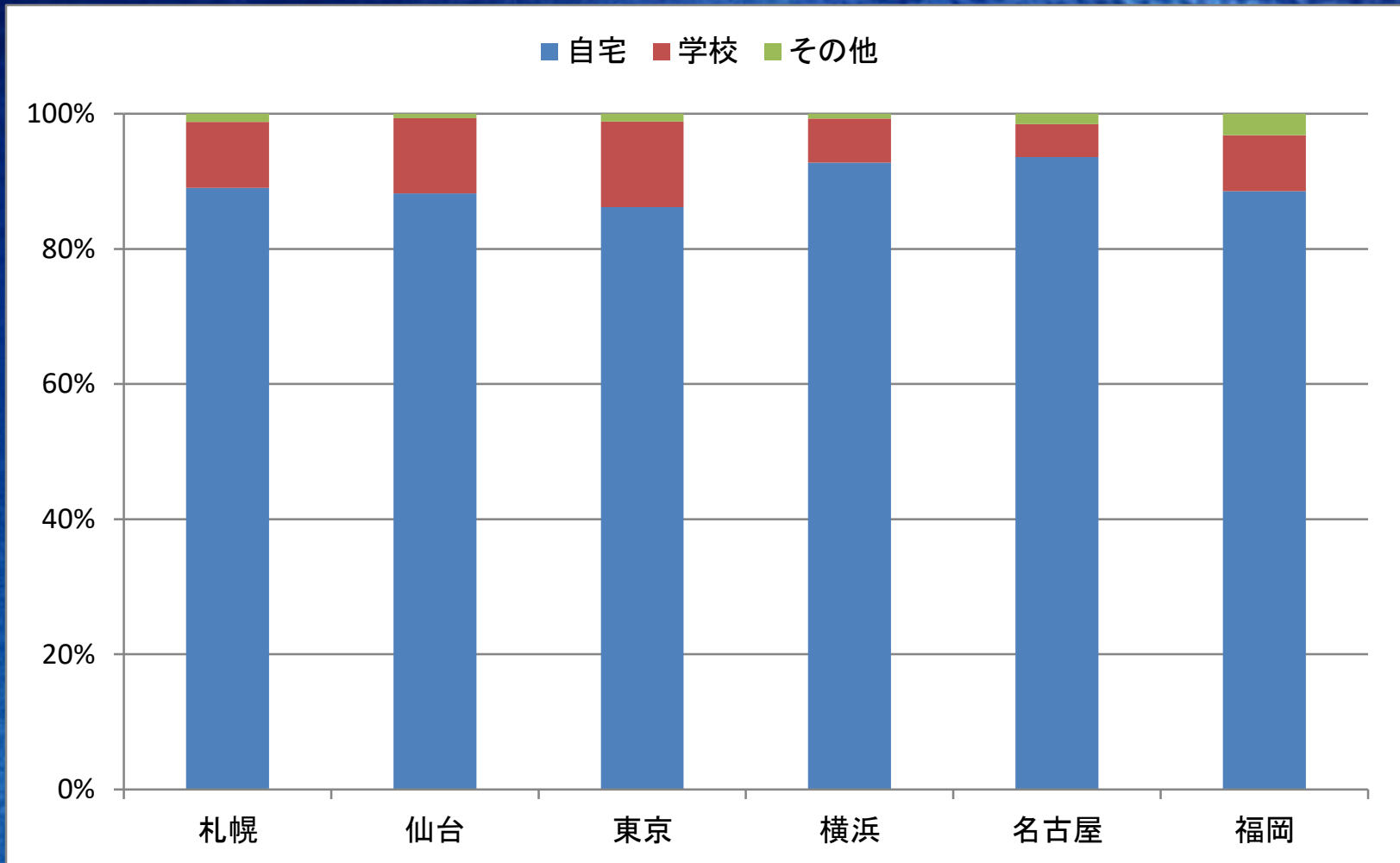
TV・ラジオ放送	スマホ・タブレット	パソコン	キャンパスの視聴会
46名	760名	355名	18名
4%	64%	30%	2%

■ TV・ラジオ ■ スマホ・タブレット ■ パソコン ■ 視聴会



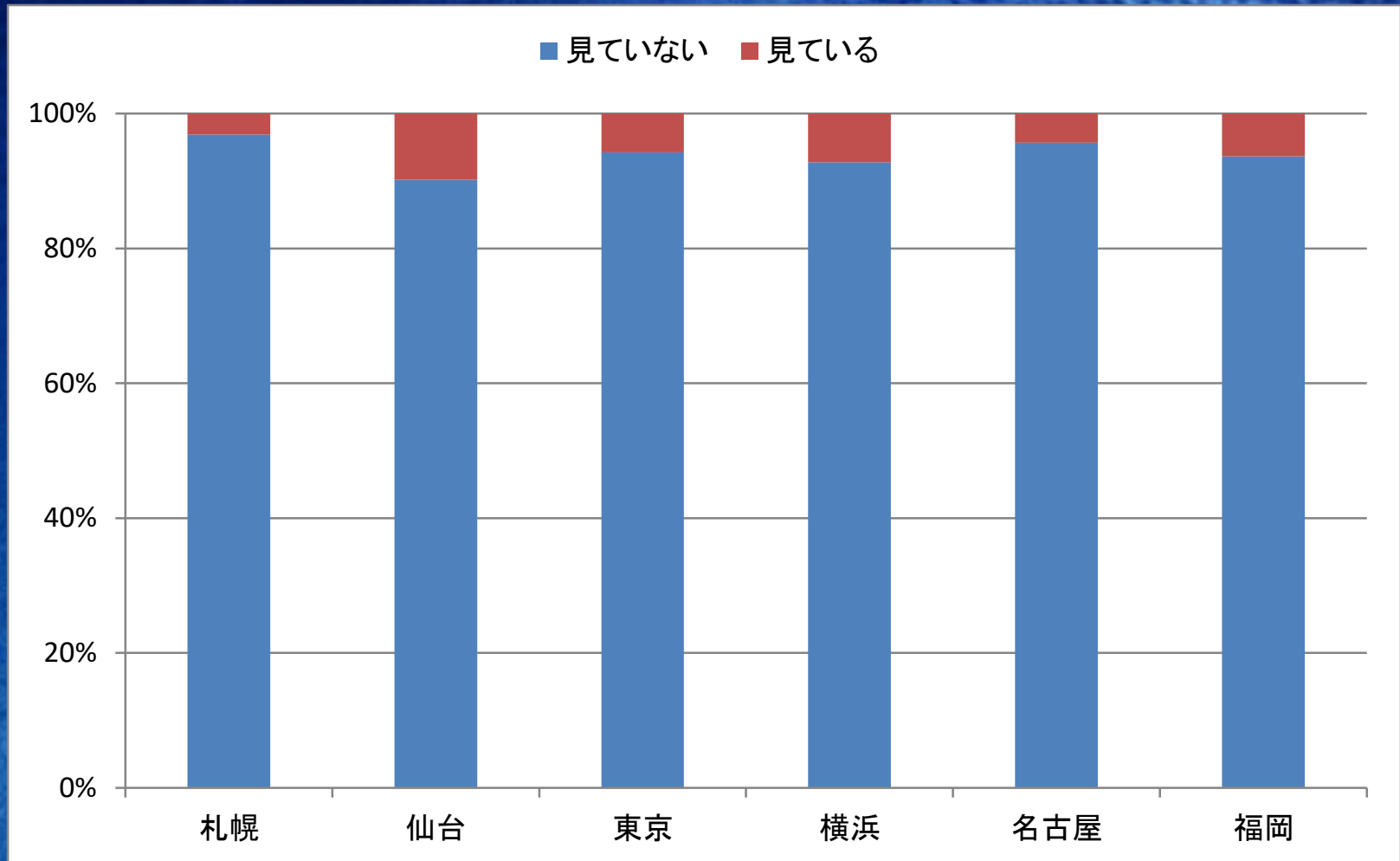
NHK高校講座を見ている場所について

自宅	キャンパス	その他
1068名	94名	17名
91%	8%	1%



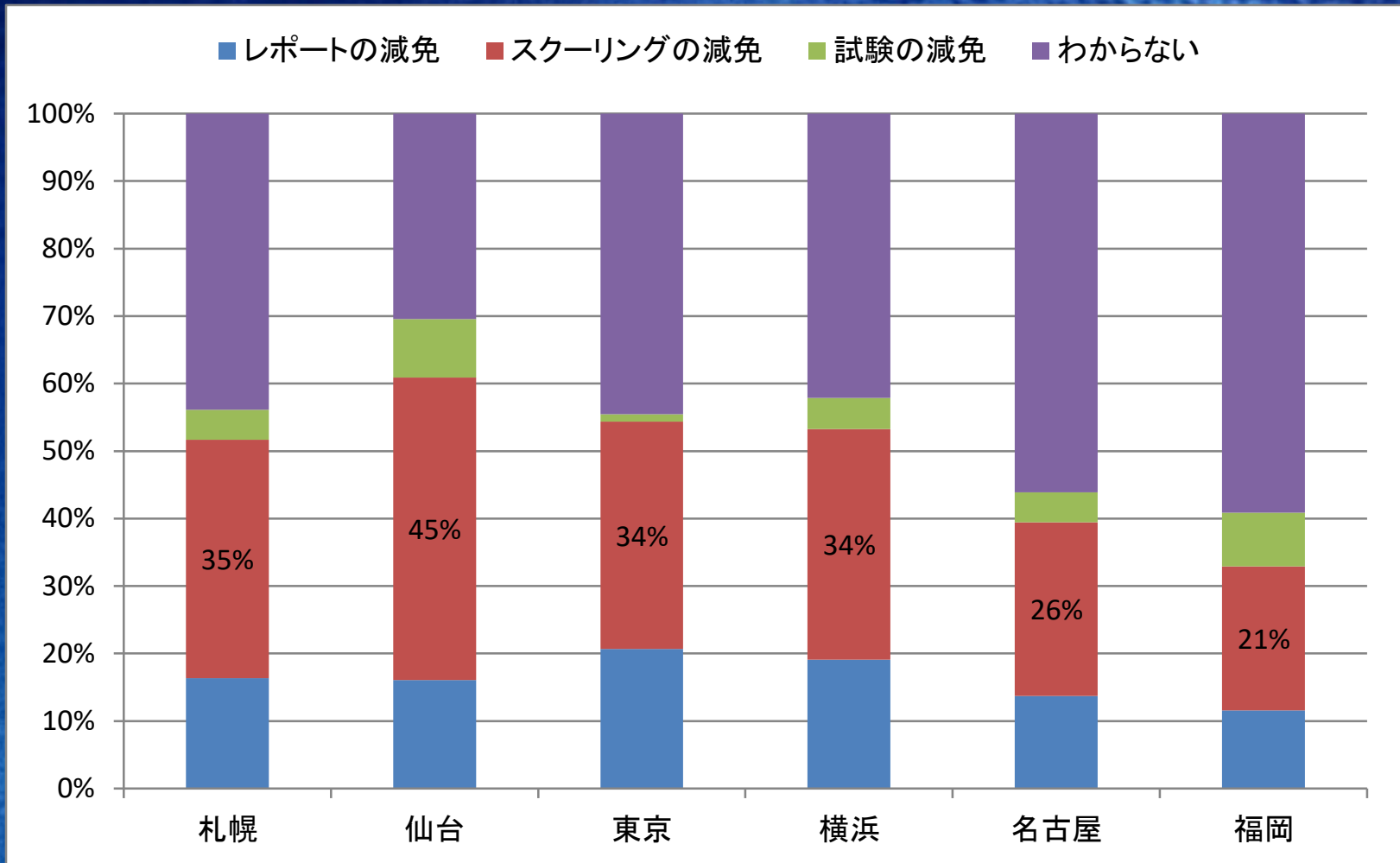
NHK高校講座 報告課題以外の放送について

見ていない	見ている
1117名	65名
95%	5%



メディアを使った放送視聴が必要な理由

レポートの減免	スクーリングの減免	試験の減免	わからない
195名	396名	66名	602名
16%	31%	5%	48%



コースを勉強するうえで学んでおきたい教科

	MA	SE	FE	BB	MS	DA	BJ	SS	全体
国語	14%	26%	8%	11%	15%	8%	23%	9%	16%
社会	10%	8%	3%	5%	6%	6%	14%	7%	7%
数学	9%	7%	5%	7%	8%	7%	8%	17%	8%
理科	7%	4%	2%	6%	3%	3%	3%	7%	4%
英語	15%	19%	20%	17%	23%	28%	22%	16%	20%
保健体育	4%	5%	1%	4%	4%	12%	5%	2%	5%
家庭	5%	4%	6%	4%	5%	4%	5%	4%	5%
情報	7%	6%	7%	11%	9%	5%	3%	3%	7%
商業	8%	7%	13%	13%	8%	7%	6%	6%	9%
書道	3%	3%	1%	1%	3%	3%	2%	1%	2%
特になし	18%	10%	34%	23%	15%	17%	11%	28%	18%

2019年度の調査について

- 2019年度は放送視聴による減免を行わないことになった(ガイドラインより)
- 継続調査をすることが難しくなってしまった。
- 添削指導(レポート)の復習の一部としてNHK高校講座のQRコードを作成し、生徒に配布して復習を促した。
- アンケートでQRコードを用いた復習状況について調査することにした

QRコードの配布について

- 第3回添削指導の返却時にNHK高校講座のQRコードを入れ、生徒に復習を促した。
- 科目については、苦手意識の高い理数系科目(数学Ⅰ・生物基礎・化学基礎)を作成した。
- レポートの回数と内容について詳しく記載して復習を行いやすい形とした。
- 結果については、試験実施時にアンケート調査を行った。

生徒に配布したQRコード

数学Ⅰ (A) レポート復習 参考資料

北海道認可通信教育

前期末試験に向け、返却されたレポートの復習を行いましょう。復習は、教科書を使ってレポートの復習を行うことや、NHK 高校講座を用いて復習することもできます。下記の QR コードを読み込むと NHK 高校講座を見ることができます。様々な教材を活用して学習しましょう。

レポート回数	タイトル	QR コード	内容
第1回	整式		高校の数学でよく出てくる単項式と多項式について理解を深めましょう。 次数と係数の違いについても復習をしましょう。
	整式の加法と減法		どんな時に加法と減法ができるのか条件の確認をしましょう。また、減法については符号の違いに注意しましょう。
	整式の乗法		指数法則や分配法則の確認をしましょう。乗法公式の前に必ず必要となる基本の分野です。
第2回	乗法公式		乗法公式の理解を深めましょう。 () ² の公式はどのようになっているのか再度確認しましょう。
	乗法公式をもっと知る		応用編の新しい乗法公式や、置換えを使った乗法公式の利用などいろいろな乗法公式を見てみましょう。
	因数分解		因数分解のキーワードは“くくる”です。 共通な因数を見つけて、くくりだしてあげましょう。

北海道認可通信教育

地学基礎 レポート復習 参考資料

前期末試験に向け、返却されたレポートの復習を行いましょう。復習は、教科書を使ってレポートの復習を行うことや、NHK 高校講座を用いて復習することもできます。下記の QR コードを読み込むと NHK 高校講座を見ることができます。様々な教材を活用して学習しましょう。

レポート回数	タイトル	QR コード	内容
第1回	ビックバンと宇宙の誕生		ビックバンで生まれた宇宙がどのようにできたのか理解し、これからの宇宙はどのようなになるのか復習しましょう。
	天の川銀河とブラックホール		天の川銀河の構造を復習しましょう。また、銀河とブラックホールの関係についても復習しましょう。
	太陽系天体の特徴		太陽系の惑星は8つあり、地球型惑星と木星型惑星に分かれます。それぞれの惑星の特徴について復習しましょう。
	太陽の素顔		太陽の表面や大気の特徴について復習をしましょう。
第2回	地層と古環境		示準化石と示相化石の違いについて復習をしましょう。時代によって代表的な化石があることも復習しましょう。

生徒に配布したアンケート

北海道芸術高等学校 放送教育に関する調査

コース _____ 年次 _____ 氏名 _____

●NHK 高校講座について、復習で利用しましたか？

1. 利用した（質問 A・B・C へ） 2. 利用しない（質問 D・E へ）

A. 利用したと答えた人に質問です。学校から配布された QR コードを利用しましたか？

1. 利用した 2. 利用していない

B. どの放送を見ましたか？

1. プリントにあった視聴すべて 2. 苦手な分野の放送だけ
3. 興味をもった放送だけ 4. その他（理由： _____）

C. プリントにない科目の放送を見ましたか？

1. 見た 2. 見ていない
（見た科目は何ですか：国語 社会 数学 理科 英語 保健体育 芸術 家庭 情報 商業）

D. 利用していないと答えた人に質問です。どのように復習をしましたか？（当てはまるものすべて）

1. 教科書を利用して復習 2. 返却されたレポートの復習
3. サテライトキャンパスの対策授業 4. 復習はしていない
5. その他（理由： _____）

E. 利用していないと答えた人に質問です。メディアや動画を利用しない理由を選んでください。

1. 教科書で勉強できる 2. 動画が分かりにくい
3. 見るのに時間がかかる 4. 自分で勉強をしないので見ない
5. その他（ _____）

●自分の選択したコースを勉強する上で、学んでおきたい教科は何ですか。当てはまるものに○をしないさい。

1. 国語 2. 社会 3. 数学 4. 理科 5. 英語 6. 保健体育
7. 家庭 8. 情報 9. 商業 10. 書道 11. 美術 12. 特にない

●その理由はなぜですか。

ご協力ありがとうございました

- 復習で高校講座を利用したかどうか？
- QRコードの仕様の有無
- 利用していない理由
- 興味のある教科（科目）の昨年度の継続調査

アンケート調査人数 2019

全国調査人数合計

985名 1447名

サテライトキャンパス別 調査人数

札幌	320名 321名
仙台	174名 162名
東京池袋	129名 127名
横浜	162名 165名
名古屋	0名 463名
福岡	200名 209名

コース別 調査人数

マンガイラストコース	354名 445名
声優コース	188名 280名
ファッションビューティー コース	116名 185名
美容師コース	114名 164名
ミュージックコース	74名 162名
ダンスコース	53名 111名
美術コース	40名 33名
総合進学コース	46名 67名

NHK高校講座を復習で利用したか

NHK高校講座について、復習で利用しましたか

	利用した	利用していない
前期末試験	68名	917名
	7%	93%
後期末試験	65名	1382名
	4%	96%

QRコード表をレポート返却時に郵送をしたが、添削済みのレポートと一笑に郵送を行ったため、実際にQRコード表を知らない生徒が多数存在した。レポート返却時は多くのものが郵送されており、次の試験に向けた勉強という意味合いを前面に押し出すことができなかった。

もう少し配る時期や内容について精査をして配布することができれば、結果が変わっていた可能性がある。

郵送の周知方法以外にも、インターネットやHPを利用した周知方法なども行う必要があった。

2020/10/15 全通研 発表資料

利用した生徒についてQRコードを利用したか？

学校で配布されたQRコードを利用したかどうか

	利用した	利用していない
前期末試験	41名	26名
	61%	39%
後期末試験	28名	36名
	44%	56%

どの放送を見ましたか

	プリントすべて	苦手な分野	興味を持った	その他
前期末試験	26名	23名	16名	3名
	38%	34%	24%	4%
後期末試験	35名	13名	14名	2名
	55%	20%	22%	3%

利用していない人の復習方法

どのように復習をしたのか(重複可能)					
	教科書の利用	レポートの復習	対策授業	復習していない	その他
前期末試験	323名	686名	457名	147名	22名
	20%	42%	28%	9%	1%
後期末試験	405名	923名	644名	301名	30名
	18%	40%	28%	13%	1%

復習で利用していない生徒は、大半がレポートの復習を自分で行っていることが分かった。

レポートが通信制教育の根幹であり、そのレポートを重要視して復習しているので満足のいく結果となった。

次に多いのは、対策授業となった。北海道芸術高等学校は、各拠点で対策授業を行い、生徒が分からない点や苦手な分野について復習の授業を行っている。この授業に参加する生徒が多く、直接話を聞くことで理解することができることがうかがえる。

利用していない人の復習方法

復習方法 地域格差について(前期末試験)

	札幌	仙台	東京池袋	横浜	名古屋	福岡
教科書	16%	23%	17%	20%		26%
レポート	39%	40%	41%	42%		51%
対策授業	36%	31%	30%	27%		6%

復習方法 地域格差について(後期末試験)

	札幌	仙台	東京池袋	横浜	名古屋	福岡
教科書	16%	23%	15%	17%	15%	23%
レポート	38%	44%	41%	45%	36%	45%
対策授業	36%	30%	36%	28%	26%	9%

メディアや動画を利用しない理由

メディア動画を利用しない理由(重複可能)

	教科書で勉強できる	動画が分かりにくい	見るのに時間がかかる	自分で勉強しない	その他
前期末試験	325名	94名	358名	140名	188名
	29%	9%	32%	13%	17%
後期末試験	440名	153名	549名	286名	248名
	26%	9%	33%	17%	15%

メディア動画を利用しない生徒についてアンケートを行ったところ一番多かった意見は見るのに時間がかかることであった。

地区通研でも話があったが、QRコードに視聴時間を入れるなどの工夫をすることができればよかったが、研究年度は時間を入れることができなかった。また、先入観として時間がかかると思っている生徒も多数いた。その他の意見として、様々なコンテンツがあり分かりやすく解説しているものもたくさんインターネット上にあるという意見もあった。どのような内容なのかは追跡調査していないが、様々な動画が公開されているので、生徒自身がいろいろな情報を集め勉強していることが分かった。

メディアや動画を利用しない理由

動画を利用しない理由 地域格差について(前期末試験)

	札幌	仙台	東京池袋	横浜	名古屋	福岡
教科書の利用	33%	29%	26%	25%		29%
分かりにくい	7%	10%	6%	9%		10%
時間がかかる	28%	31%	41%	36%		32%

動画を利用しない理由 地域格差について(後期末試験)

	札幌	仙台	東京池袋	横浜	名古屋	福岡
教科書の利用	32%	31%	20%	21%	24%	26%
分かりにくい	9%	10%	12%	12%	8%	7%
時間がかかる	26%	33%	46%	42%	28%	36%

選択したコースで学んでおきたい教科

2019年度 冬のアンケート結果

	MA	SE	FB	BB	MS	DA	BJ	SS
国語	13%	23%	7%	10%	16%	9%	14%	11%
社会	7%	7%	5%	5%	5%	6%	11%	6%
数学	8%	7%	8%	8%	8%	8%	8%	12%
理科	5%	4%	2%	5%	3%	1%	7%	3%
英語	13%	16%	17%	15%	20%	27%	12%	22%
保健体育	4%	6%	2%	3%	5%	9%	2%	3%
家庭	5%	6%	8%	4%	5%	7%	3%	5%
情報	6%	7%	9%	9%	7%	7%	7%	9%
商業	9%	8%	12%	13%	9%	5%	9%	9%
書道	3%	3%	2%	2%	1%	1%	7%	2%
美術	20%	7%	9%	4%	7%	4%	19%	5%
特になし	7%	6%	19%	23%	14%	15%	1%	13%

2018

	MA	SE	FB	BB	MS	DA	BJ	SS	全体
国語	14%	26%	8%	11%	15%	8%	23%	9%	16%
社会	10%	8%	3%	5%	6%	6%	14%	7%	7%
数学	9%	7%	5%	7%	8%	7%	8%	17%	8%
理科	7%	4%	2%	6%	3%	3%	3%	7%	4%
英語	15%	19%	20%	17%	23%	28%	22%	16%	20%
保健体育	4%	5%	1%	4%	4%	12%	5%	2%	5%
家庭	5%	4%	6%	4%	5%	4%	5%	4%	5%
情報	7%	6%	7%	11%	9%	5%	3%	3%	7%
商業	8%	7%	13%	13%	8%	7%	6%	6%	9%
書道	3%	3%	1%	1%	3%	3%	2%	1%	2%
特になし	18%	10%	34%	23%	15%	17%	11%	28%	18%

2019

	MA	SE	FB	BB	MS	DA	BJ	SS	全体
国語	14%	22%	0%	14%	16%	8%	16%	13%	16%
社会	8%	7%	6%	4%	5%	5%	8%	7%	7%
数学	10%	8%	12%	12%	7%	7%	6%	11%	9%
理科	4%	4%	3%	5%	3%	5%	5%	4%	4%
英語	14%	17%	22%	16%	25%	22%	15%	19%	17%
保健体育	3%	4%	1%	3%	4%	13%	5%	2%	4%
家庭	4%	4%	6%	4%	4%	8%	4%	4%	5%
情報	5%	6%	15%	7%	7%	5%	7%	9%	6%
商業	7%	6%	22%	9%	9%	3%	5%	6%	7%
書道	2%	2%	4%	2%	0%	1%	4%	2%	2%
美術	19%	7%	8%	4%	4%	3%	21%	2%	12%
特になし	8%	13%	1%	20%	16%	20%	5%	19%	11%
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

発表資料

選択したコースで学んでおきたい教科

●マンガ・イラスト

美術・英語・国語が多かった。美術は基本的な画力の向上、英語と国語は漫画を描くうえで語彙力が必要であるという結果となった。

●声優

国語・英語が必要という結果となった。日本語を正しく使えるようになるために国語を必要とする意見が多かった。

●ファッションビューティー

英語・商業・情報が必要という結果となった。このコースは卒業後就職者が多く、働くために商業や情報の知識が重要と考えている生徒が多かった。美容師コースとの違いは数学より情報に趣を置いている傾向があった。ファッションに関して最新の情報などを収集するため情報が多くなっているように感じた。

●美容師

英語・商業・数学が必要という結果となった。卒業後は美容師として働くのが大半のため、接客で英語が必要なこと、売り上げの計算などで商業が必要。また、薬品の計算などで数学が必要になり、具体的に社会に出た時を意識した回答となった。

●ミュージック

英語・国語が多い結果となった。ミュージックは作詞作曲があり、語学力が必要になることが多いため、このような結果となった。

●ダンス

英語が多い結果となった。ダンスコースは将来海外でダンスをしたいという傾向が大きく、英語をしっかり話せるようになりたい生徒が多かった。また、保健体育も多く身体づくりや筋肉について興味を持っている生徒が多いことが分かった。

●総合進学

苦手な教科を上げる生徒が多く、数学や英語が多い傾向があった。

結果と考察

- 復習用にQRコードを配ることで少数ではあるが、復習に高校講座を利用することができた。
- 高校講座を利用しない生徒の復習方法は、教科書や対策授業が大半を占めた。
- 復習にメディアや動画を利用しないのは時間がかかると考える生徒が多かった。NHKの短いコンテンツを知らない生徒が多かった。
- コースごとに学んでおきたい教科は、昨年同様の傾向であった。
- NHK高校講座などの勉強をするメディアを知らない生徒が多く存在した。周知方法も郵送ではなく、その他の方法を利用した周知方法が必要であった。

家庭でのインターネット環境

- 札幌・福岡で家庭でのインターネット環境について調査を行った。
- 感染症の環境のもと、生徒と郵送物だけではなく、インターネットを利用した双方向のやり取りをする可能性について調査を行った。
- 世帯収入が少ないので、インターネット環境が整っていないかどうかの調査を行った。(2拠点での結果となる)

札幌でのアンケート結果

・ 総アンケート数 273件

質問	選択肢	回答数
自宅でインターネットを利用できる環境である	はい	263名
	いいえ	9名
通信制限があるかどうか (WIFI環境調査)	制限あり	29名(10%)
	制限なし	238名(87%)
	利用していない	5名(3%)
自宅で配信動画をスムーズにみることができるかどうか	はい	248名(91%)
	いいえ	24名(9%)

福岡でのアンケート結果

総アンケート数 170件

質問	選択肢	回答数
自宅でインターネットを利用できる環境である	完備している	145名
	スマートフォン回線	24名
	環境なし	1名
視聴する機材(端末に)について ※重複回答あり	パソコン	97名
	タブレット	55名
	スマートフォン	129名
	その他	3名
	機材なし	2名
自宅で配信動画をスムーズにみることができるかどうか	はい	248名(91%)
	いいえ	24名(9%)
オンラインでの双方向の連絡を希望するかどうか(連絡や面談など)	希望する(環境もある)	87名
	希望するが環境がない	5名
	希望するがどうしてもいいかわからない	56名
	希望しない	12名
	その他	10名